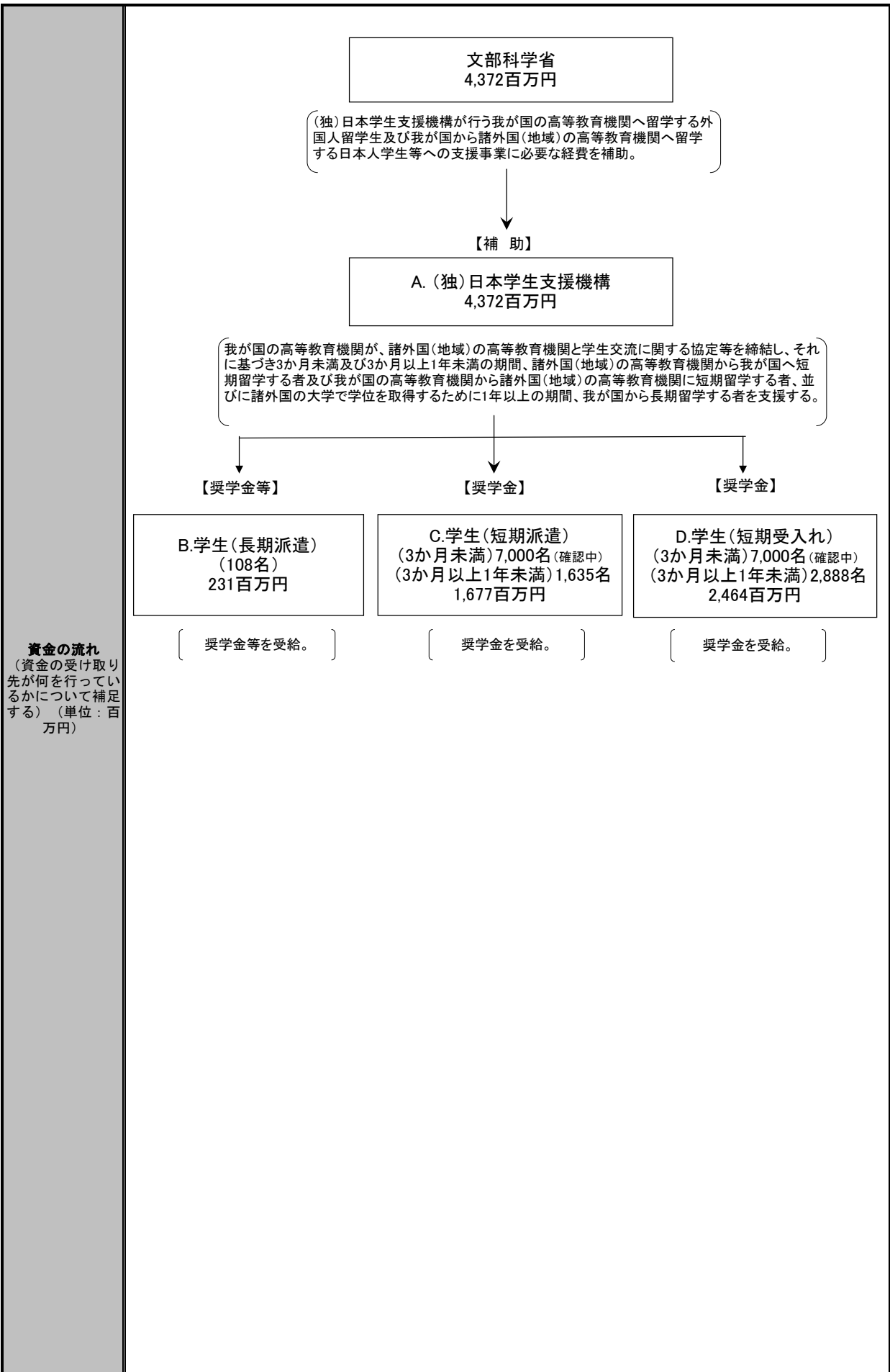


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)										
事業名		留学生短期受入れと日本人学生の海外派遣を 一体とした交流事業		担当部局庁		高等教育局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度		平成20年度		担当課室		学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 松尾 泰樹		
会計区分		一般会計		施策名		XIV-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		—		関係する計画、 通知等		「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) グローバル人材育成推進会議中間まとめ(平成23年6月22日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔 に。3行程度以 内)		我が国の高等教育機関が諸外国(地域)の高等教育機関と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき、学生の派遣、受入れを行う場合に、当該学生を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国(地域)との相互理解と友好親善を増進するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。 また、あわせて、諸外国(地域)の高等教育機関へ留学する日本人学生等に対し、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び我が国の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		(1)留学生派遣(長期):日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、「修士」または「博士」の学位取得を目指し留学(1年以上)する者 (2)留学生派遣(短期):日本の高等教育機関に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき諸外国(地域)の大学等に短期留学(3ヶ月未満、3ヶ月以上1年未満)する者(大学院生、学部生、短期大学生、高等専門学校(第4年次以上)、専修学校(専門課程)) (3)留学生受入(短期):諸外国(地域)の大学等に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき我が国へ短期留学(3ヶ月未満、3ヶ月以上1年未満)する者(大学院生、学部生、短期大学生、高等専門学校(第4年次以上)、専修学校(専門課程)) に対し、(独)日本学生支援機構を通じ、(1)奨学金及び授業料、(2)、(3)奨学金を支援する。								
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		予 算 の 状 況	当初予算	2,269	2,400	4,372	5,322	7,809		
			補正予算	3,089	—	—	—			
			繰越し等	▲ 1,192	1,192	—	—			
			計	4,166	3,592	4,372	5,322	7,809		
		執行額		4,166	3,592	4,372				
		執行率 (%)		100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果 実績 (アウトカム)		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		成果実績	優れた外国人学生の受入れ、日本人学生の派遣により、大学の国際化・国際競争力の強化や将来を担う人材の育成等に資するものであり、定量的な成果目標の設定は困難であるが、その目標達成のため支援数等の拡大を図っている。 なお、定性的な成果指標の設定については、今後、現在行っているプログラム実施報告やアンケート調査等を踏まえながら、有識者等の意見も参考にしつつ、適切な方法についての検討を進めていく。			—	—	—	—	—
			達成度				%	—	—	—
活動指標及び活動 実績 (アウトプット)		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		活動実績 (当初見込み)	受入れ留学生数(短期)			人	4,242	2,332 (1,800人)	(短期(3ヶ月未満)) 7,000(確認中) (短期)2,888 (3ヶ月未満: 7,000 3月以上1年未 満:1,600)	(3ヶ月未満: 6,300 3月以上1年未 満:1,440)
			日本人学生の派遣者数			人	(短期)2,661 (長期)新規:52	(短期)1,231 (長期)新規:38 継続:52	(短期(3ヶ月未満)) 7,000(確認中) (短期)1,635 (長期)新規:27 継続:81 (短期(3ヶ月未満)): (短期):760 (長期):90	(短期(3ヶ月未満)): (短期):760 (長期):100 (短期(3ヶ月未満)): (短期):2,280 (長期):200
単位当たり コスト		235(千円/人)			算出根拠	単位当たりコスト =H23年度執行額(4,371,778千円)÷受入れ留学生数・日本人学生の派遣者数(18,631人:確認中)				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	留学生交流支援事業費補助金		5,322百万円	7,809百万円	※事業の改善に伴う増					
	計		5,322百万円	7,809百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	－
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、諸外国の大学に在籍する留学生在が我が国の大学に短期留学を行うとともに、我が国の大学に在籍する学生が諸外国の大学への留学を実現しており、大学間交流協定等に基づく質の保証された学生交流が推進している。 ・双方向型の学生交流を促進するため、平成23年度に、3ヶ月未満を対象とした支援を開始するなど、制度の改善を図っている。 ・日本人の海外留学者が減少傾向にあることから、平成24年度には、日本人の海外留学のための奨学金の拡充を行った。 （長期派遣：100人（H23）→200人（H24）、短期派遣：760人（H23）→2,280人（H24）） ・平成25年度の採用者より、学生の質をより担保する観点から、語学力や成績評価基準等について、選考基準を厳格化して募集予定（長期派遣）。 ・これまで事業成果については、プログラムの実施報告や派遣学生からの留学報告などにより把握してきたところ、今後、学生に対する満足度や、進路状況に関するフォローアップ調査を充実するなど、さらなる事業の効果的かつ効率的な実施方法を検討する予定。 ・事業成果の検証方法等については、今後、有識者等の意見を踏まえながら、改善を図る予定。 ・経費の執行に関して、機構は、採択大学から提出される報告書等において、支出先・使途を把握している。文部科学省は、事業年度毎に機構から提出される実績報告書等において、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	1. 事業評価の観点：本事業は、留学生交流事業に要する経費の日本学生支援機構に対する補助事業であり、公開プロセスの対象となった事業である。 2. 所見：本事業は、高等教育改革全体の方向を踏まえて、それぞれの事業の目的を明確にしながら対象者の選考方法や単位取得などのプログラム内容等、教育の質を向上させるために、より効果的な事業の在り方を検討すべきである。特に3ヶ月未満の短期受入・派遣事業については、各大学等がこれまで自主的に実施してきた学生交流事業との関係について整理するとともに経済的理由で参加が困難である学生等に支援対象を重点化するなどしっかりと見直しをすべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	・3ヶ月未満に特化した事業を廃止するとともに、3月以上1年未満の事業を見直す ・申請要件や審査を厳格化し、1年以内の派遣・受入れとして、その期間にかかわらず優れた計画を採択 ・採択された計画のフォローアップ項目・方法の厳格化と併せ、フォローアップ体制を強化することによりPDCAサイクルを確立し、継続的に事業の改善を図る体制を構築 上記の見直しにより、概算要求に▲4,896百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
※3ヶ月未満の派遣・受入れ実績は、現在実施中のプログラム（平成24年2月～3月出発分）終了後に集計予定			
【新成長戦略（H22. 6.18）】 http://www.kantei.go.jp/jp/sinseichousenryaku/sinseichou01.pdf ○関係箇所 （3）アジア経済戦略～「架け橋国家」として成長する国・日本（P20～22） （6）雇用・人材戦略～「出番」と「居場所」のある国・日本～（P31～33） 《21世紀の日本の復活に向けた21の国家戦略プロジェクト》 8. グローバル人材の育成と高度人材等の受入れ拡大（P42～43）			
【グローバル人材育成推進会議中間まとめ（H23. 6）】 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/110622chukan_matome.pdf			
【産学協働人材育成円卓会議】 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/46/index.htm			
【日米文化教育交流会議（カルコン）】 http://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/s_noda/1204_culcon.html			
※行政事業レビュー「公開プロセス」（平成24年6月） ＜結果＞ 抜本的改善 http://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1322356.htm			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		0405	平成23年行政事業レビュー
			0175



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が支 出されている者につ いて記載する。費目 と使途の双方で実 情が分かるように記 載)	A. (独)日本学生支援機構			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	奨学金	4,262			
		授業料	110			
	計		4,372	計		0
	B. 学生A(長期派遣)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	奨学金	2			
		授業料	3			
	計		5	計		0
	C. 学生A(短期派遣)			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	奨学金	1			
	計		1	計		0
	D. 学生A(短期受入れ)			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	奨学金	1			
	計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人日本学生支援機構	短期留学生、派遣留学生に対する奨学金等の支給	4,372	-	-

B. 学生(長期派遣)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金等の援助	4	-	-
2	学生B	奨学金等の援助	4	-	-
3	学生C	奨学金等の援助	4	-	-
4	学生D	奨学金等の援助	4	-	-
5	学生E	奨学金等の援助	4	-	-
6	学生F	奨学金等の援助	4	-	-
7	学生G	奨学金等の援助	4	-	-
8	学生H	奨学金等の援助	4	-	-
9	学生I	奨学金等の援助	4	-	-
10	学生J	奨学金等の援助	4	-	-

C. 学生(短期派遣)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金の援助	1	-	-
2	学生B	奨学金の援助	1	-	-
3	学生C	奨学金の援助	1	-	-
4	学生D	奨学金の援助	1	-	-
5	学生E	奨学金の援助	1	-	-
6	学生F	奨学金の援助	1	-	-
7	学生G	奨学金の援助	1	-	-
8	学生H	奨学金の援助	1	-	-
9	学生I	奨学金の援助	1	-	-
10	学生J	奨学金の援助	1	-	-

D. 学生(短期受入れ)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金の援助	1	-	-
2	学生B	奨学金の援助	1	-	-
3	学生C	奨学金の援助	1	-	-
4	学生D	奨学金の援助	1	-	-
5	学生E	奨学金の援助	1	-	-
6	学生F	奨学金の援助	1	-	-
7	学生G	奨学金の援助	1	-	-
8	学生H	奨学金の援助	1	-	-
9	学生I	奨学金の援助	1	-	-
10	学生J	奨学金の援助	1	-	-